

前年度の改善方策について実行した改善結果

児童の成長、変容に視点を当てた振り返り～学校経営計画の実現状況～

令和5（2023）年度、保護者、地域の皆様に本校の教育活動に対して、ご理解ご支援をいただき、ご協力いただきましたこと、たいへん感謝しております。

令和5年最初の保護者会全体会でお示しいたしました「学校経営計画」や学校要覧でお伝えした〔教育目標〕、〔最重点目標〕を、学校関係者評価アンケートの評価結果や学校運営委員会での話し合いを基に、児童の成長、変容に視点を当てて振り返らせていただきます。

※以下、学校関係者評価アンケート(児童)＝関係者評価(児童)、学校関係者評価アンケート(保護者)

=関係者評価(保護者)、学校関係者評価アンケート(地域)＝関係者評価(地域)と表記します。

※下記の中での「肯定的評価」とは、学校関係者評価アンケートの回答で「とても思う」と「思う」の合計を示しています。

＜教育目標＞の基本である「子供一人一人に対する愛情ある共感的な子供理解」

＜居場所がある＞

- ・自分の役割がある
- ・活躍の場がある
- ・認め合える

＜居心地がよい＞

- ・わかりやすい授業である
- ・安心して発表できる
- ・学習規律がある

【学校関係者評価アンケートの結果】

・関係者評価(保護者)の「本校では、子供の意欲を大切にしている」の肯定的評価が94%（昨年度94%）と高い評価でした。しかし、「私の子供は、失敗を恐れないで、いろいろなことに挑戦している」の肯定的評価は、61%（昨年度71%）と評価が下がっていました。同じような傾向が、関係者評価(児童)でも見られ「先生は、児童の意欲を大切にしている」の肯定的評価は、88%（昨年度85%）と高い評価でしたが、「私は、失敗を恐れないで、いろいろなことに挑戦している」の肯定的評価は、69%（昨年度76%）と評価が下がっていました。

・関係者評価(保護者)の「本校は、子供が考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある」の肯定的評価が93%（昨年度94%）と高い評価でした。また、「本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子供が理解している」の肯定的評価は、84%（昨年度90%）と高い評価です。同様の傾向が、関係者評価(児童)でも見られ「授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある」の肯定的評価が96%（昨年度92%）と高い評価でした。また、「学校のきまりを守らない児童に先生は注意している」の肯定的評価が94%（昨年度83%）と高い評価でした。

関係者評価(保護者)の「子供が失敗を恐れないで、様々なことに挑戦」の項目の肯定的評価が、61%（昨年度71%）と10ポイント下がってしまっていること。同様に、関係者評価(児童)の肯定的評価も、7ポイント下がっていますことを重く受け止めます。

子供たちには、自分のよさや可能性に自信をもち、様々なことに果敢に挑戦していくほしいと願っています。そこで、まず、子供たちが安心して自分のよさや可能性を發揮できる場を授業中や学校生活の中でつくっていくことを最重点目標としていきます。

今日の自分より、明日の自分、更に、1ヶ月後の自分へと思いを描いてチャレンジできるように、私たち池之上小学校の教職員は、保護者や地域の方々のご協力もいただきながら、子供たちを支え、指導してまいります。

キャリア・未来デザイン教育＜ひとつでも多くの自信をもたせる＞

低学年

「好きなこといっぱい
できることいっぱい
学校って楽しいな」

中学年

「自分と友だちと
みんないつしょに」

高学年

「挑戦する やりぬく
夢・希望を広げる」

【学校関係者評価アンケートの結果】

・関係者評価(保護者)の「本校では、自分の生き方や将来について、考える授業がある」の肯定的評価が66%（前年度65%）でした。さらに、同項目で「分からない」が16%（前年度21%）となっています。同様に、関係者評価(児童)でも「自分の生き方や将来について、考える授業がある」の肯定的評価が63%（前年度77%）と肯定的評価が低くなっています。

上記の関係者評価(保護者)の肯定的評価や関係者評価(児童)の「自分の生き方や将来について考える授業」の肯定的評価が、60%台と他の評価項目に比べ、かなり低い評価となっていること。さらに、関係者評価(保護者)の「分からぬ」が16%もあることも解決していく課題と受け止めます。

キャリア・未来デザイン教育を具現化する「ひとつでも多くの自信をもたせる」を、どのような学習活動で展開しているのか、そこで、教員がどのような支援ができているのかを明確にするとともに、子供たちや保護者にすすんで周知していき、まずは、関係者評価(保護者)の「分からぬ」を5%以下にすることを目指していきます。

せたがや探究的な学びくよい学習習慣を身に付けさせる>

・「児童自らが学び、共に高め合う授業」を目指し、全ての教員が個人研究テーマを設定し、授業改善に取り組みます。
【改善方策】
「問題解決的」で「主体的・対話的で深い学び」の視点で、児童に学びの楽しさや喜びを味わわせます。



【学校関係者評価アンケートの結果】

・関係者評価(保護者)の「本校は、子供が考えることや、課題を解決することを大切にした授業を行っている」の肯定的評価が91%（前年度94%）でした。また、「本校は、子供が考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある」の肯定的評価が93%（前年度94%）でした。同じような傾向が関係者評価(児童)でも見られ「先生は課題について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中でとっている」の肯定的評価が94%（前年度90%）、「授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある」の肯定的評価96%（前年度92%）と高い傾向が維持されています。

上記の関係者評価(保護者)や関係者評価(児童)の「子供が考えることや、課題を解決することを大切にした授業やそのための時間や機会」の肯定的評価が、90%台と複数年でかなり高い評価となっています。

学校が組織体として、学校の最重点目標として、校長をはじめ教職員が協力して教育活動にあたっていることを評価していただいている。私たち教職員の日々の努力を認め、高く評価していただいていることに、感謝申し上げます。

この高い評価に甘んじることなく、学校の教員の使命である「子供たちによい学習習慣を付けさせる」ための授業力向上や、校内研究【研究主題】相手の話を受け止め 判断し 自分の考えを伝える児童の育成～言葉で伝え合うことを通して～」の研鑽に努め、子供たちが主体的に学ぶ場の改善に努めています。

保護者会全体会でお示しした「目指す学校像」<口児童には、人権尊重の精神に基づき、相互の豊かな人間関係づくりを図るため、他者を思いやる心や守るべき社会生活のルールを身に付けさせる学校 口保護者・地域には、分かりやすい学校の教育情報を発信し、育てたい子供像を共有し、共に児童を育てる学校 口教職員は、池之上小学校の教育課題を自覚して職層や役割等に応じて一人一人が能力を発揮し、伸ばせる学校>の実現のために、保護者や地域の方々に本校の教育活動を支えていただきましたこと、改めて感謝の言葉を述べさせていただきますとともに、引き続き、令和6（2024）年度も、ご理解ご支援いただきますようお願い申し上げます。